

長崎県福祉サービス第三者評価結果報告

1. 第三者評価機関名

有限会社 医療福祉評価センター

2. 事業者情報

名称： 社会福祉法人あいわ会 障害者支援施設サントピア学園	種別： 障害者支援施設
代表者氏名： 吉岡 健仁	定員（利用人数）： 50名
所在地： 〒851-0131 長崎市松原町728番地2 Tel : 095-839-2400 Fax : 095-837-1500	

3. 総評

◇特に評価の高い点

①理念に基づいた職員の動き

施設長は、他の施設で受け入れが困難といわれる利用者も積極的に受け入れきた。その結果、「見すてない、あきらめない、血の通った福祉の実践に努めます」という理念が職員に理解され、サントピア学園で仕事を行う、誇りにつながっている。

②工夫された居室環境

築30年程度建った当施設では、50名の利用者が日々生活をしている。30年前の設備基準と現在の設備基準では大きく変わっており、利用者の個室化も課題となっている。職員の控室を、利用者の個室に変更するなど、限られた予算や空間の中で、知恵をしぼり、個室で暮らしたいという利用者の要望に積極的に対応している。

◇改善を求められる点

①マニュアルの見直し

2003年に100ページを超える運営マニュアルを作成、そのほかにも、利用者毎のリスクをまとめた文書を作成するなど、業務文書の整備に力をいれている。職員への聞き取りを行うと、整備したマニュアルの活用が、一部徹底できていないようである。時間をかけて整備したマニュアルであるので、内部の研修に活用したり、定期的に検証し、見直しする等、活用するための仕組みを定めることが望まれる。

②次世代への継承について

施設長・施設長補佐・事務長・主任・副主任で、月に1回あすなる委員会を開き、施設の事業や運営に関して話しあっている。施設長としては、「次世代の幹部職員へ、自分たちが考え切磋琢磨してほしい」との思いがある。今まで施設長が長年大事にされていることなど、次の世代へ継承されることを期待する。来年度以降の中期の事業展開を『あすなる委員会』のメンバーで企画する命題がでていたことなので、そのきっかけとすることが望まれる。

4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

細部までご検討いただき、項目によっては予想以上の評価を頂戴しまして恐縮です。取り組み内容の評価基準につきましては、当事業所としての視点と多少相いれない部分もありましたが、総合的に自らの歩みを振り返る絶好の機会となりましたことを感謝申し上げます。ありがとうございました。

5. 各評価項目にかかる第三者評価結果

(別紙)

6. 利用者調査及び書面調査の概要

利用者調査の概要は非公開

事業所情報（障害者・児施設）

（平成 24 年 11 月 23 日 現在）

施設名 障害者支援施設 サントピア学園

1. 基本情報

郵便番号	851-0131		
所在地	長崎県長崎市松原町728番地2		
TEL	095-839-2400	ホームページ	
FAX	095-837-1500	E-mail	aiwa@santopia.or.jp
施設までの利用交通手段	長崎県営バス松原バス停より3.8km（タクシー：8分／徒歩：50分） JR肥前古賀駅より3.5km（タクシー：7分／徒歩45分）		
開設年月	1983（S58）04.01	開所時間	24時間（通年）
敷地面積	10000㎡	建物面積	1873㎡
経営主体	社会福祉法人あいわ会	施設長名	吉岡 健仁

2. 職員体制（複数の資格取得している場合は、重複計上してください）

専門職	常勤	非常勤
施設長	1	
事務員	4	
生活作業員・作業指導員	16	11
看護師	1	
栄養士	1	
嘱託医		1

3. 施設の理念・方針

理念：1. 見捨てない・あきらめない、血の通った福祉の実践 2. 安全・安心・快適な生活の保障 3. 地域の一員として、地域貢献・社会貢献に努める 方針：利用者の状況や置かれている環境に応じて、必要な介護等を適切に行い、かつ地域との結びつきを重視し、行政機関や他の障害福祉サービス及び保険医療サービスを提供する者と密に連携を行う。

4. サービス内容

対象地域	特に限定せず
対象年齢	18歳以上
定員	50名

サービス名	備考
健康管理	看護師を中心とした健康管理を実施
食事	外部業者（永太樓）に委託
休日	自由日課とし帰省や外出の受け入れも本人や家族の意向を尊重
地域との交流	地元子供会・自治会・敬老会との合同行事やそれぞれの行事への相互参加あり
保護者会活動	サントピア学園育友会

5. 施設の公開、実習生、ボランティアの受入について

施設の公開・見学	実習生の受入	ボランティアの受入
随時見学可 ※ただし、事前に電話等で予約をいれてもらうことが望ましい。	地域福祉委員会が窓口になって学校側との連絡調整を実施している。	日常的なボランティアの参加はあっていないが、学園行事などの際に受け入れを行っている。